

ブナ植樹に関する記録

H30年4月13日版

<p>平成25年秋</p>	<p>◆役員会にて、町内外へ参加者を募り植樹祭を開催したいとの意見が出された。役員の見解がまとまり、教育委員会担当者へ相談。当会が全面的に協力する事も申し出た。同年、福島県地域づくり総合支援事業へ申請を行い、平成26年春に事業が採択された。</p>	
<p>平成26年</p>	<p>◆5月 事業名「駒止高原癒しの森交流促進事業」実行委員会設立総会開催。実行委員として半数以上の当会役員が参加。</p>	
<p>平成26年</p>	<p>◆「ブナ復元指導者講習会」参加 28年度の植樹に向けて、谷本宇都宮大学名誉教授と土壌について学習。針生にてブナ苗を採取し、針生星区長畑へ移植。春季と秋季2回実施し、3,000本近いのブナ苗を確保した。</p>	
<p>平成27年</p>	<p>◆5月 針生にて苗を採取し、田島高等学校畑へ移植。高校生も参加した。約400本植えた。</p> <p>◆6月 新潟県湯沢町植樹参加 源流の水源地を守る目的で20年間毎年実施している事業であった。 ・美人林（びじんばやし）視察 大正時代石炭にする為に皆伐された林。芽が出たブナ苗を人間の手で保護</p>	 
	<p>◆9月 9月7日から降り続いた豪雨、「関東東北豪雨」により、国道289号の道路の崩落、檜沢川の堤防の決壊、床上、床下浸水などの被害が出た。館岩地域でも、土砂くずれ、道路崩落、堤防決壊、田畑が流され、電柱倒壊と数えきれない被害が出た。駒止湿原への道路も針生側が大きな被害を受け、通行できなくなってしまった。（参考：情報を掲載）</p> <p>◆9月以降の事業は中止された。H28年度のブナ植樹祭の中止を決め、29年度への延期を決定</p>	  <p style="text-align: center;">写真提供：南会津町教育委員会</p>
<p>平成28年</p>	<p>◆6月 道路と駒止湿原視察。教育委員会担当者と共に南郷側から入山。1、2年で道路工事が終わらない事を実感。駒止湿原への被害が少なかったことを確認。（当会事業）</p>	
	<p>◆夏 苗畑除草 事業担当者や実行委員が2回参加</p>	
<p>平成29年</p>	<p>◆6月 ブナ苗仮植事業へ参加 大学の専門家の助言を受け3通りの植え方を行った。実行委員のほか、東北電力田島営業所が協力。約200本植樹</p>	
<p></p>	 	 
	<p>◆6月～9月 ススキ刈等、植樹場所の整備（実行委員）</p>	
	<p>◆10月19日 10月22日の植樹祭に向け苗確保作業を行う。田島高等学校と針生の畑より苗を掘り起こし、湿原へ運んだ。</p>	



◆10月22日 植樹は台風のため中止された。
 ◆参加者およそ80人。このうち東北電力(株)から24人の参加があった。
 ◆針生区の協力でトン汁を提供する事ができた。
 参加記念品は森の案内人の協力で制作されたストラップ



◆10月31日 植樹。10月22日が中止となった為、再度当会を中心に参加者を募り植樹を行った。東北電力田島営業所・案内の会の協力者を得て25人が参加。



実行委員会ではシルバー人材センターへ植樹を依頼し、別の畑の苗も採取し植樹が完了した。

ブナ苗 3年前からの移植総数・・・約3,000本
 採取数約2,150本/約3,000本(6月200本 10月19日1,150本 高校 400本 シルバー委託約400本)